

「体とところと生活に関するアンケート調査」の協力依頼書を受け取られた お子さんとご家族の方へ（調査のご協力をお願い）

本調査の詳しい内容（臨床研究新規審査依頼書・関連資料等）について閲覧したい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。また本調査への協力を望まれない方は、協力依頼書の下方にある調査辞退届を担当者にご提出ください。

【研究課題名】 体とところと生活に関するアンケート調査

【調査の背景と目的】 心身の問題を抱え、学校生活に困難がある子どもたちは増加傾向にあります。2020年の不登校のお子さんは、小学生 63,350（1.0%）人、中学生 132,777（4.1%）人、合計 196,127（2.0%）人であり、10年間で60%増加しました。不登校のお子さんには医学的な問題がある方も多く、睡眠の問題が最多で60%、発達障害は57%、頭痛が43%と報告されています。今回私たちは、中学校の生徒の方を対象に、標準化された質問紙検査を実施し、心身の問題を調査したいと考えています。

【対象となる方】 対象となる埼玉県および千葉県内の小・中学校の児童および生徒の方

【質問紙検査の内容】

SDQ（Strength and Difficulties Questionnaire：子どもの強さと困難さアンケート）は、子どもの情緒や行動についての25の質問項目を回答する形式の質問紙検査です。子どものメンタルヘルス全般をカバーするスクリーニング尺度として検証が重ねられ、世界各国で臨床評価、学校健診などに広く用いられています。

QTA（Questionnaire for triage and assessment：子どもの心身健康度スケール）は子どもの心身の健康度を評価し、必要な支援に結びつけることを目的に国内で開発された質問紙検査です。身体症状に関する質問を多く含むことが特徴で、信頼性と妥当性が検証されており、医療・教育の現場で広く用いられます。

IGDS9-SF（Internet Gaming Disorder Scale-Short-Form：インターネットゲーム症調査票）はインターネットとゲームの使用状況について調査する質問紙で、2015年に開発され、現在は各国で用いられています。

生活習慣に関するアンケート：起床時間、就寝時間、ゲーム時間、欠席数などの子どもたちの生活習慣に関して質問するアンケートです。

【調査の流れ】 事前に本調査の趣旨と協力依頼を記載した保護者向けの手紙（協力依頼書）を配布します。調査の協力を望まない方は、調査辞退届をご提出ください。タブレットもしくはスマートフォンを使用して、QRコードから質問紙検査にアクセスし、お子さんにお答えいただきます。検査結果は、後日、結果説明用紙を配布してお伝えします。なお問題を抱える可能性のあるお子さんの結果説明用紙には、書面のみでなくZoomによる結果説明のご案内もいたします。

【調査期間と参加予定人数】 本調査は2022年7月の獨協医科大学埼玉医療センター臨床研究倫理審査委員会の承認日から2024年3月31日まで実施され、約18,000名のお子さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】 本調査では、お名前や生年月日、住所など、個人を特定できる情報は収集されません。

【結果の公表】 本調査は、日本小児科学会等で発表し、小児科学会雑誌等へ投稿される予定ですが、その際も学校名や個人の情報が公表されることはありません。

【倫理的配慮】 獨協医科大学埼玉医療センター臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて実施されます。

【調査責任者】 獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター 作田 亮一（教授）

【問い合わせ先】 獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター

担当者：井上 建（PHS：1238）

住所：埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

電話番号：048-965-0628（医局直通）平日 9時～16時

以上